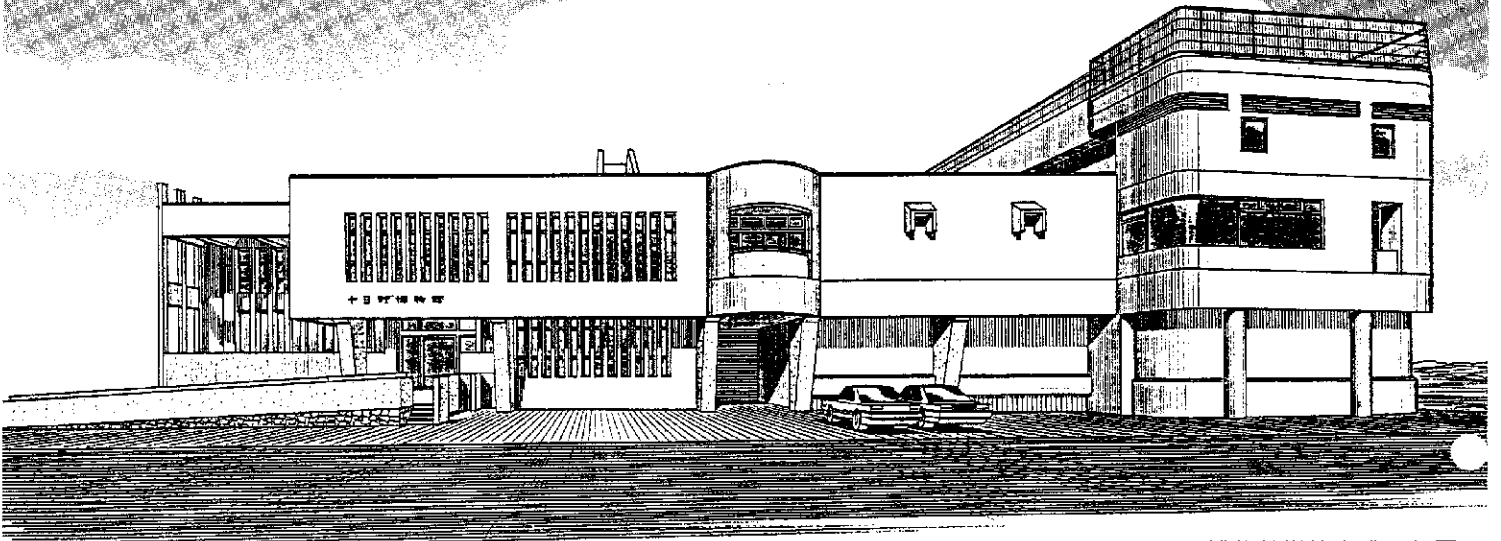


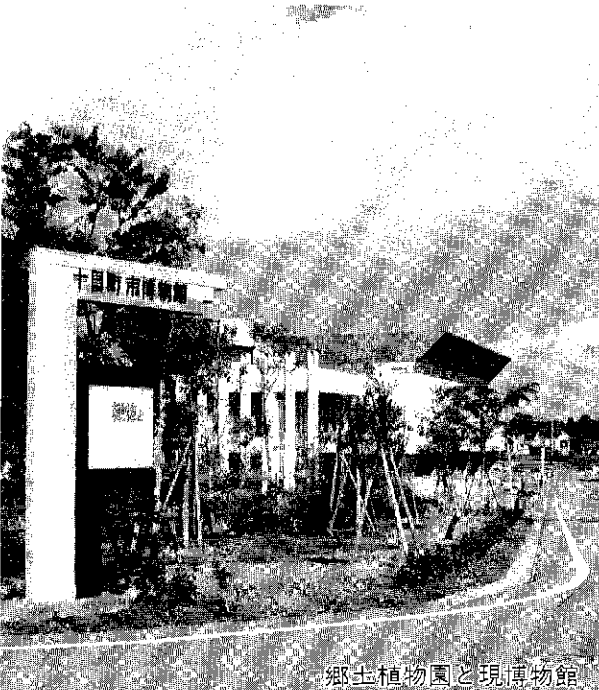
■十日町市の面積211.44km<sup>2</sup> ■人口(10月末日現在)47,295人(前月比-12)男23,215人(+7)女24,080人(-19) ■世帯数12,417(±0)

## 地域のルーツと文化をさぐる 博物館が増築されます!

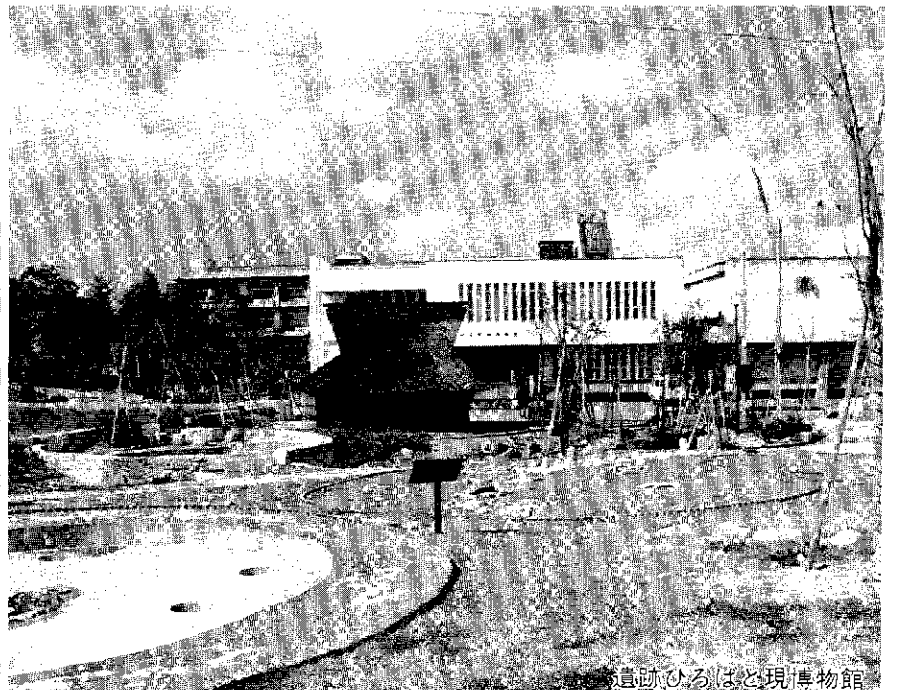
市博物館は、昭和54年に開館し、来年10周年を迎えます。その間、敷地内に郷土植物園と遺跡ひろばができ、今度は越後縮収蔵庫と考古館が建設されることになりました。完成は昭和64年秋ですが、名実ともに市が誇れる文化の殿堂として地域の教育・文化への貢献はもちろんのこと、産業や観光にも大きな期待が寄せられています。



博物館増築完成予想図



郷土植物園と現博物館



遺跡ひろばと現博物館

# と信濃川

## 博物館の 今日と明日

### 昔のモノが語りかける

#### 英文パンフと「友の会」のある博物館

博物館は、モノを通して学び、考えるための施設です。温故知新といわれるように、モノは昔の人々の知恵と努力の結晶であり、わたしたちに明日を語ってくれる貴重な財産です。

さて、市博物館は来年十周年を迎えますが、雪と織物と信濃川という地域の特徴を生かした博物館として県内外関係者の関心を集めてきました。

入館者は年間約二万人ですが、雪国としてはかなり多い数です。

活動は特別展、巡回展、博物館講座、自然教室、展示解説書や英文パンフレットの発行など。千人の会員をもつ博物館友の会もあり、学習会、グループ研究、文化財めぐり、子ども博物館、郷土記録賞募集、郷土資料出版などを行い全国的にも注目されています。

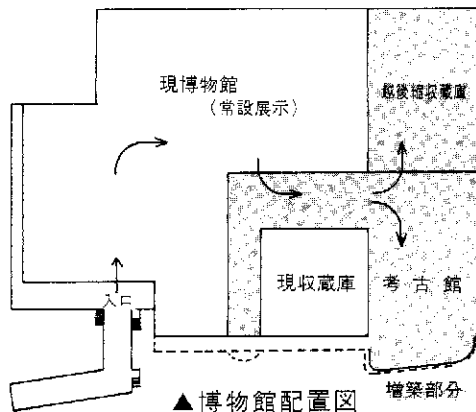
### 増築される博物館

#### 次の世代と教育、文化、産業、観光のために

ところで、近年、昔のモノが失われ、その保存対策が問題になっています。次の世代のためにもわたしたちはこの文化遺産を守っていかなければなりません。

そこで博物館では、市民のご協力をいただき、資料収集に力を入れてきました。その中から越後関係資料が国の重要文化財になり、次は冬の民具の大コレクションを準備を進めています。また、この地方は遺跡の宝庫で、発掘された石器や土器も多く、重要文化財級のものもあります。しかしその収蔵展示場所がなく、宝の持ちぐされとなっていました。そこで今年、国・県の補助を受け、博物館を増築することになったわけです。

建物は鉄筋コンクリート三階建、約、七〇〇平方メートルの図のように越後縮収蔵庫(約六〇〇平方メートル)と考古館(約一、一〇〇平方メートル)が入ります。内容は二倍の面積となりますが、これで約二倍(約二、七〇〇平方メートル)の面積となり、市が誇れる博物館となります。地域の教育、文化、産業、観光のために、来年の完成が待たれています。



▲博物館配置図

### 新潟を代表する 博物館へ



市博物館協議会会長  
滝沢 栄輔さん

開館十周年の記念すべき年を迎えるに当たり、現状の約二倍の規模になる縮収蔵庫と考古館の増設工事が着工されました。待望の施設拡充だけに、地域文化の向上に計り知れない効果が期待されています。

これまで、内部資料の充実、教育研修、遺跡調査、市史研究、友の会活動などに取り組み、また郷土植物園、遺跡ひろばと周辺の環境整備を進めてきました。

縮収蔵庫と考古館が完成すると県内屈指の博物館となり、マイ・ライフ・リゾート新潟の中核都市、十日町・魚沼地域の中心的な文化センターとして大きな役割を荷うこととなります。

今後はソフト面を重点に一層の内容充実に取り組み、来たる二十一世紀に向けて新潟を代表する文化ゾーンとして、市内・外の熱い期待にこたえていってほしいと願っています。

わたしたちの地域と心をはぐくんだ

特集

# 雪と織物

## 越後縮収蔵庫

### 暮らしと十日町織物の源流を求めて

今回建設される越後縮収蔵庫には、昭和六十一年に国の重要有形民俗文化財に指定された越後縮の紡織用具及び関連資料、二百九十一点が収蔵展示されます。この内容については、すでに博物館で図録妻有の女衆と縮織り(三千円)として出版していますが、織物とその生活背景までも含めて集めた資料としては全国的にもめずらしく、高く評価されています。

さて、越後縮という織物についてはもはや知らない世代が多くなってしまいましたが、その生産は十日町や魚沼・頸城地方で行われ

ていました。その歴史は古く、平安時代には庶民の着用を禁ずる記録もあり、全盛期の江戸時代には武士の式服にもなったほどのものです。原料は青竹(オ)で、農家の女性たちによって織られていました。年間に一、二反しかできなかったといわれていますから、大変な仕事であったわけです。その技術が今日の十日町織物の基になっています。

これらの資料によって、織物というものと、その時代を生きたわたしたちの先輩や農家、商家の暮らしを学ぶことができるでしょう。

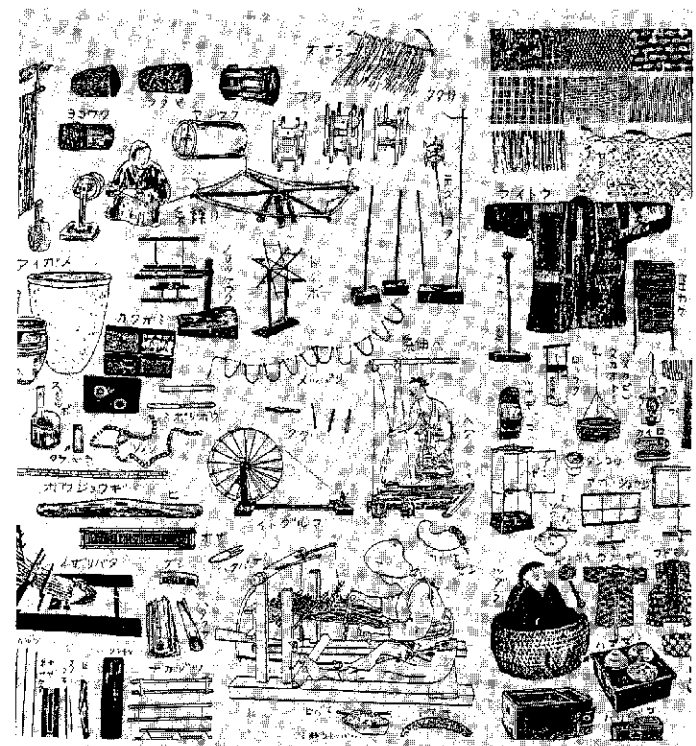
もう一方の考古館には、市内の遺跡から発掘された石器や土器などが展示されます。遺跡の分布や内容については、博物館で発行したガイドブック「十日町の遺跡(下田)」に紹介されていますが、ここでは当時の暮らしまでも復元し、わかりやすく展示する計画になっています。

さて、この地方は考古学の宝庫だともいわれていますが、遺跡は信濃川の流れがつくった日本一といわれる河岸段丘の上にあります。その台地にわたしたちの祖先は住みつきました。現在確認されてい

る遺跡は約七十九カ所で、古いのは約一万五千年前の石器時代、多いのは約四千年前の縄文時代のもので、原始時代という野蛮人を想像するかも知れませんが、彼らにはかなりの能力をもち、現代文明の原形的なものはずでに作り出していました。厳しい自然の中でわたしたちの祖先が生きる知恵を身につけてくれたからこそ、今日の社会があるのです。

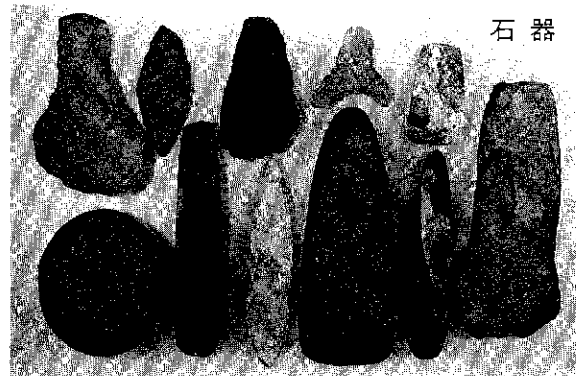
なお、考古館の展示工事については予算の都合で昭和六十五年度になります。特に子供たちには興味のある施設となるでしょう。

▲重要有形民俗文化財



## 考古館

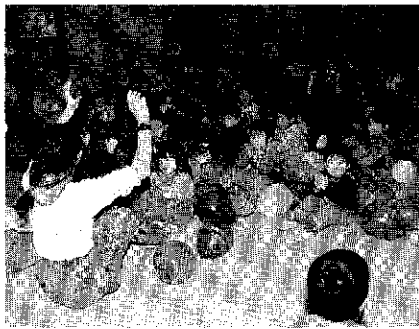
### 河岸段丘にわたしたちの祖先をさぐる



石器



土器



↑テビっ子ピクス 子どもはもちろんですが、どちらかという親のほうが夢中です。



↑内科相談 「定期に検診を受けていますか」はい！



↑歯科相談 「むし歯がはじまっています。早く治しましょうね」



↑記念講演 三遊亭円楽さん「笑いと人生」をテーマに約2時間講演し、会場には800人が入りました。



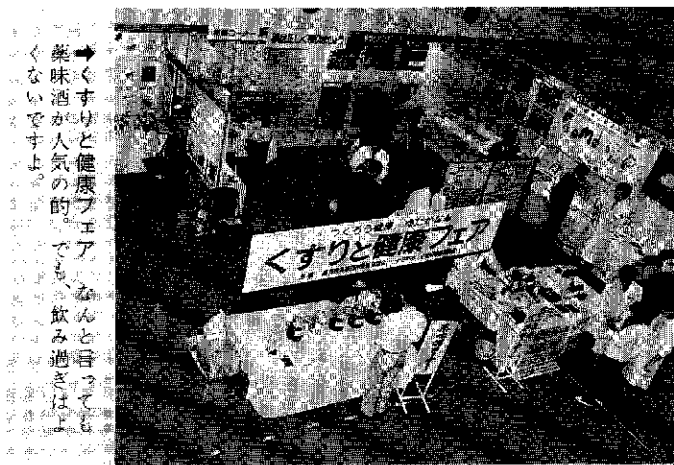
↑栄養相談コーナー「心と体を養う糧です。かたよった食事にびっくりする人も」

# '88健康づくりフェアに三千五百人

明るい明日への架け橋 '88健康づくりフェアが、十月二十八日・二十九日・三十日の三日間、クロス10を会場に開かれました。八回目を数える今年も、新潟県薬事団体連絡協議会や十日町市・中魚沼郡薬剤師会の協力で「くすり」と健康フェアも開かれました。期間中は、健康づくりコーナーや記念講演などに延べ三千五百人が訪れ、大盛況でした。



↑調理師会、やまな会、なかま作業所、身障者福祉センターの皆さんがフェアを盛り上げました。



→くすり」と健康フェア、みんな言っても薬味酒が人気の的でも、飲み過ぎはよくないですよ。



→成人病予防コーナー「高コレステロールと高血圧を自分で検知して自分の脈は、自分の血圧を知っておくことも立派な健康管理です」



→体力測定コーナー「握力、背筋力、踏台昇降運動などに挑戦。おまかせ、若くて頑張ってくださいね」

# 62年度 上水道事業決算状況

昭和六十二年度の水道事業決算状況をお知らせします。前年度に引き続き、①生活用水の安定供給②有収率の向上（漏水調査委託）③冬期間の水量確保④配水管洗浄工事（赤水対策）⑤経常経費の節減などを目標に事業を行いました。

水道水一立方メートル（ドラム缶約五本分）当たりの費用は、百八十五円八十五銭になり前年度の百八十四円四十八銭よりわずかに上昇しました。それは、減価償却費、支払利息、企業債取扱諸費が伸びたためです。

## 第三期拡張工事

冬期間の水源地確保のため、拡張事業用地取得や除鉄装置、浄水機械、場内配管、電気計装などの設備工事を行いました。

## 建設改良工事

四千二百九十口の老朽管共同管の統合による配水管の布設管をはじめ、消火栓設置、第三水系配水管洗浄工事などを行いました。

## ◎収益的収入および支出

(単位：万円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	38,293	営業収益	60,350
営業外費用	20,816	営業外収益	501
小 計	59,109		
当年度純利益	1,742		
合 計	60,851	合 計	60,851

## ◎資本的収入および支出

(単位：万円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
建設改良費	30,367	企業債	23,970
企業債償還金	5,057	負担金	41
合 計	35,424	合 計	24,011

資本勘定における資金不足額1億1,413万円は、減債積立金、損益勘定留保資金で補てんしました。

## ◎給水事業の状況

(昭和62年4月1日から63年3月31日まで)

区 分	昭和62年度	昭和61年度	増 減	比 率 (%)
給 水 栓 数 (個)	8,477	8,434	43	100.5
給 水 人 口 (人)	28,638	28,840	△ 202	99.3
年間使用水量 (㎥)	3,053,628	3,002,821	50,807	101.7
1日最大配水量 (㎥)	13,551	14,170	△ 619	95.6
1日平均使用水量 (㎥)	8,343	8,227	116	101.4
1秒当たり年間使用水量 (㎥)	360	356	4	101.1

道路の上などの水もれを発見したときは、水道局へお知らせください。

57-3111内線240・241

## 水もれ発見に ご協力を

資本的勘定では、差引き一億千四百十三万円の不足となりましたが、損益勘定留保資金等で補てんし、収支の均衡を図りました。

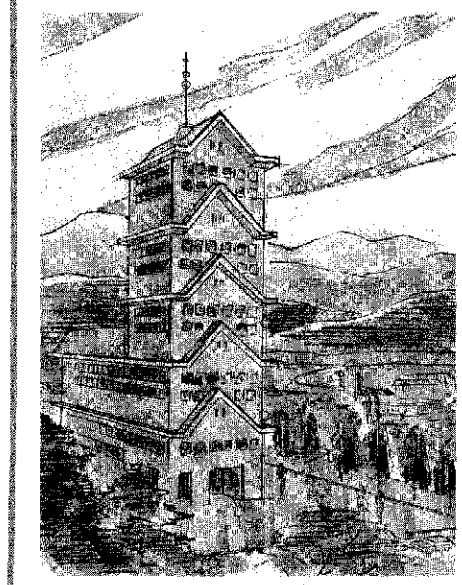
## リゾートで創ろう

一部監視区域に  
指定されます

## 21世紀のまち

集落単位の説明会を開催  
当高高原地区のリゾート開発計画は民間と市との研究会で具体化しています。また、地権者や関係集落への状況説明がされていまして、その計画の内容公表は、もう少し先になります。

今、計画している内容は日本のリゾートブームの中でほかのリゾート地に負けない珠川台地と南雲台地の広い面積の活用（土地所有者の同意が必要ですが）を考えています。市と一体となって研究している企業以外の人たちに土地を売買されますとリゾート開発全体に大きな影響が出ます。そのため計画の実現が不可能になる場合もあります。市や研究会からの説明会を聞く



宿泊観光も考えながら… (イメージ図)

までは土地の売買はしないようにお願いします。

説明会は、地元の建設促進委員会と相談しながら、各集落単位の開く予定です。

監視区域で地価の安定を新潟県では総合保養地域整備法（リゾート法）に基づき基本構想の承認申請が行われているところです。国では、土地の投機取引および地価の高騰が生ずることがないように注意し、必要に応じて国土利用計画法に定める監視区域の指定を行うこととしています。

そこで、新潟県では適正なりゾート整備を進めるために次のとおり監視区域を指定し、地価の安定を図ることとしています。

監視区域の範囲は、十日町市庚、大字伊達甲・乙・丙・丁・庚・辛、大字新宮甲・乙、大字馬場己、壬、癸の全域となっています。

監視期間は、昭和六十二年十一月十五日から六十八年三月三十一日までです。

この地域では、一万平方米以上の土地取引に届出が義務づけられていましたが、今後は二万平方米以上が知事に届出が必要となります。

土地取引届出事務説明会  
と き 十一月十五日(火)午前十時  
ところ 保健センター 集団  
検診室 (二階)  
問い合わせ 地域開発室  
(☎57-3111内線218・219)へ。

※多数のご参加をお願いいたします。

はい、曲げます ゲートボール体操

市では、「ヘルスパイオニアタウン事業」の一つとして「ゲートボール体操」を考案しました。その講習会が十月十八日、総合体育館で行われ、クラブ代表者約百人が集まりました。この体操は、プレーに熱中し、手足や首が疲れるという訴えが多いことから作られました。

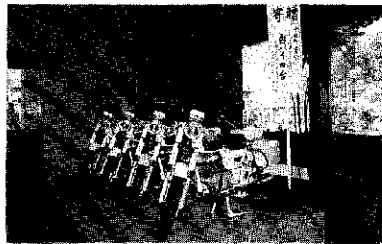


そんなに無理せず、動作はゆっくりと

背伸びや横ひねり、足踏みなど十種類の動きでわかりやすくまとめられています。十日町小唄をアレンジした軽快な曲つきで、ステイックを両手で持ち、無理なく体がほぐれ約三分間で終わります。ぜひ、皆さんも覚えてみてください。問い合わせは、保健衛生課 国保係(☎37-3111 内線140・141)です。

十日町北ロータリーが 白バイ四台を寄贈

十日町北ロータリークラブの創立二十周年記念式典が十月二十三日、クロス10で開かれました。式典は、主催者のあいさつや来賓の祝辞のあと、クラブ誕生から今日に至る経過や活動報告が行われました。クラブでは、日米交換学生の派遣、数多くの地域奉仕活動を展開しています。



善意の贈り物に大喜びです

特に記念事業の節目には、交通安全センター屋上に安全標語看板を、なかさわ作業所やつつじ工房にカメラ、バイクなどを寄贈しています。今回は「交通安全を願います。今回は、交通安全を願います。この白バイは、十日町・中条・吉田・下条地区に配置され、交通指導のため有効に役立てられることになっていきます。

イラストレーション 四季の詩

-8-

雪国の郷愁、わら芸芸

ここ赤倉では今年も仕事の始まり。熟練した指先から、青刈りの薫りいっぱいのわらが宝船、状さし、俵などの工芸品に生まれ変わります。間もなく辺り一面、銀世界の冬を迎えます。



鈴木 蘭さん (広報協力員)



渋谷 千ヨさん (新座2 61歳)



庭野 勝太郎さん (西本町1 80歳)

主人も入会、共通の話題ができて楽しいですね

「遊んでいるのも……」と茶飲みばなしをしていた時、一シルバ一人材センターに行ってみたら、と友達に紹介されたんです。今年で三年になりました。家庭の留守番です。午後に出かけて夕方に帰ってきます。掃除、台所の片づけ、庭の草取りなどをやっています。小学一年の女の子がいるんですが、私が帰る時に「行ってらっしゃい」と言ってくれるんですよ。行き始めて一年半にもなりますから孫のようにかわいいですね。

主人も入会しているんですけど、共通の話題ができ、家で毎日の様子を話し合ったりします。本当に楽しいですね。

若いもじ民身ぎんぎん

ほんくら頭のポケ防止に、よいと思いますよ

月に二回づつ、高齢者学級の習字と俳句に通っています。おおよしいの人たちと話ができるもんだから、公民館に来る日を楽しみにしています。

俳句は毎回、五句づつ持ち寄るんですが、ほんくら頭のポケ防止にはよいと思いますね。

みんなでチビッ子公民館のお手伝いもやっているんですよ。竹トンボ、竹スキーなどを子供たちと楽しみながら作ります。少し教えるのすぐいできて、今の子供たちもなかなか器用なもんですよ。



# 活動最前線

No.32

皆さんの健康を祝し、乾杯



多彩なイベントで四ツ宮公園はいっぱいです

## 特色を生かし誇れる地域づくりを

本町五・六丁目青年部会（春日清茂会長）

### 実行委員会が企画、運営

昔、にぎわった下町の祭りを復活させようと数人の有志が集まり、本町五・六丁目青年部会として発足したのが、昭和四十八年です。「地域社会の振興と町内の福祉活動をおして会員相互の親睦を図ること」を目的に意欲的な活動を進めています。

現在、三十六人の会員で「会員親睦、少年野球、諏訪祭り・敬老会、十五夜祭り」と四つの実行委

# 趣味は最高!

20



琴の音色、古来の響きが伝わります

## 琴を親しむ「翠染会」

連絡先：柳 翠染さん  
（田中町東）  
☎52 2095

会員は十三人、琴の弦と同じ数です。練習は毎週金・土曜の午後一時から、十三本の琴柱を移動して音調を整えるところから始まります。琴は奈良時代に貴族が愛用した雅楽の一つです。「よく取っ付きにくい、むずかしそうだ」と耳にしますけど、バイオリンや三味線と違って形ができていますからやる気さえあれば。でも、今は琴などの邦楽より洋楽の方が人気があり、少しさみ

しいです。ね」と柳さんが話します。会が生まれて十年になりました。それを記念して五月に念願の演奏会が大成に終わって、これから励みになると会員は大喜びです。毎年、きものまつりや観蓮会、雪まつりの行事に出演しています。そこでは、有名な「琴六段の調べ」「八千代獅子」「春の海」「千鳥の曲」が、一番喜ばれるそうです。「お座敷で、きもの姿に琴を弾くのは情緒深く、日本人にぴったりの合います。ドレミの音符を覚えるよりやさしいですから、ぜひ皆さんも琴をとおして伝統音楽に親しんでいただければ」と琴を奏でる会員は訴えています。最近ではドレスで演奏する人もあるとか。

員会を設けています。その四つが、それぞれ年間事業を企画し、運営に当たっています。

### 最大の事業は十五夜祭り

主な事業は新年度総会、夜回り、十五夜杯争奪少年野球、諏訪祭り、十五夜祭り、敬老会、春・秋の公園の草取りや雪囲い、レクリエーションなどを行っています。特に九月は最大の事業である十五夜祭りです。下町全域の協力を得て夜店や舞台、みことと趣向を凝らし、たくさんの人から楽しんでいただいています。そのかいがあって、「下町に十五夜祭りあり」と言われるまでになりました。また、十月には招待事業として七十歳以上のお

年寄りを招き敬老会をやり、春から秋にかけては交替で夜回りをし、防火活動に努めています。全盛時に六十人の大所帯に膨れ上がった当時と比べ、会員も活動も減りました。今年はおかげで新会員も加わって、奇抜な発想やアイデアが「ポンポン」と飛び出し、なごやかなムードになっていきます。ただ一つ残念なことは、男性だけの所帯だけに花の一輪が添えられればもっと活気が出ると思います。長い年月がたつと活動もマンネリになりがちです。そうならないため、時には酒を飲みながら語り合い、知恵を出し合って、特色ある地域づくりを目指しています。

# こんにちは。

No.17

企画財政課

# 市役所です。

市民の台所を預かっている企画しながら、十日町市の振興に努主婦のひとりである栗林京子さん(北からお話をいただきました。

企画財政課では安定的な財源を確保しています。そこで家庭を預かる(鏡坂3)と宮沢竹利企画財政課長が

## 四つの係で家計の役割

**栗林** 「企画財政課」と言う市市民の皆さんは、「お金を扱っている」と思っている人が多いのではないのでしょうか。

**宮沢** 「お金を直接扱っているのは会計課です。企画財政課は財政係、企画調整係、管財係、電算係の四つの係があります。

財政係は予算編成や建設工事の契約、市で使う物品などの購入をしています。企画調整係は総合計画、各課との調整役やまちづくり懇談会が主です。管財係は市の財産の取得や土地開発公社などの仕事です。電算係はコンピュータを使って住民記録など作っています。  
**栗林** すいぶん、たくさんのお仕事があるんですね。まちづくりの基になる、いわば市民の家計を担当しているところですね。

## 収入は四つの柱が基本

**栗林** その家計は、どのようにしているのか、簡単に教えてください。

**宮沢** 暮らしに密着した学校や保育所を建てたり、道路整備したり、豊かなまちづくりを日ざし、予算編成に当たっています。これらの仕事をしていくためには、市に入ってくるお金がなければなりません。もちろん、皆さんからいただく税金が大切な財源になります。



栗林京子さん

**栗林** 私も家計を握っている主婦ですけど、暮らしを切り詰めるのは限られますが、かと言って借金はいやですか。今年はいくらぐらいですか。

**宮沢** 市の予算は、一般会計と特別会計があります。きょうは、その一般会計の状況を説明しますと、まず市に入る収入(歳入)は、次の四つの柱になっています。その一つは、市税と言って市民税や固定資産税、都市計画税などです。二つ目は、国が国税を市の財政力に応じて配分する地方交付税があります。三つ目は、特定の事業や事務をするためにもらう国や県の支出金です。四つ目は、これだけでは間に合わないので、借金(市債)をします。



宮沢竹利 企画財政課長

**宮沢** 約八億円です。後世に残る小・中学校などを建てる資金として借金をします。住宅ローンだと思っただければわかりやすいでしょうか。

## 支出は土木費がトップ

**栗林** こうして集まったお金を、まちづくりのためどのように使うか、計画を立てるのが、支出(歳出)になるわけですね。

**宮沢** 「市報とおかまち」でお知らせしていますが、多いほうから説明しますと道路や公園整備、克雪都市整備などに使われる土木費がトップです。次いでお年寄りや体の不自由な人たちのために使われる民生費そして教育費、総務費の順です。

**栗林** 道や橋などの土木費が多いですね。今、十日町橋の改修工事です。不便を感じています。道や橋が通動、通学、買い物に大きな役割を果たしていることを通切に感じました。

**宮沢** 確かに産業や市民生活に密接につながります。栗林さんが、おっしゃるとおり、お金には限りがあります。ですから毎年、知恵を出し合っただけでさまざまな問題解決や将来展望が開けるようにと「市民と市とのまちづくり懇談会」を行っています。

皆さんからの提言や要望は百六

十五件もあり等このうち道路関係は四十件で全体の二十五%を占めます。

**栗林** そんなに要望が多いと予算を組む時は、順番をつけて進めるのですか。

**宮沢** 必要度や緊急性の高いものから優先順位をつけて進めますので、皆さんからご理解いただきました。

## 健全な財政運営に努力

**栗林** 「お金がもうかるからやる、お金がないから止める」という民間企業とは少し違いますから、知恵をしばって財源をやりくりすることが要求されますね。

**宮沢** 急激には税収の伸びも期待できませんし、長い目で市民生活の向上を図っていきたく考えています。

**栗林** 今までのお話で「企画財政課」の内容が、うすうすわかりました。次代の人たちが喜んでいただけるために、急がずあせらず、お互いに頑張りたいと思っています。

**宮沢** 今後、いつそう健全財政を目指して努力したいと思っています。市民だけでなく、一人でも多く人が集まって、来たくなるようなまちになればと思っています。

そのためには、皆さんからご協力をいただかないと、何もできませんのでよろしくお願いします。

→家庭、理解しあえる友達がいて、地域の人の助けがあってこそ、人間らしく生きられるものと思います。





大きなおねえ (47)

村山 勇志くん (3歳) 春男・友子さん長男 (新座4-2)

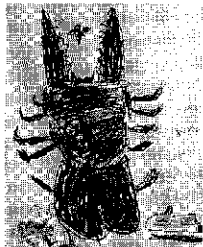
ジライヤ、ライブマンが大好き。絵本を何回も読んでもらったから暗記したよ。だから妹(佐和子ちゃん)に読んであげるんだ。でも、妹はすぐに絵本を取るんだよね。牛乳が大好きな僕だから、きつとジライヤのように強い子になれると思うよ。

じょうずに描けたネ!

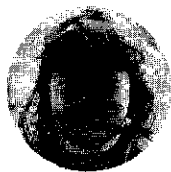
越後保育園 (47)



仲良しのまり子ちゃんです。いつも、おうちごっこをして遊んでいるの。お母さん役が好きなの。



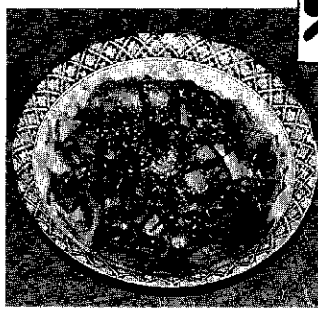
昆田が大好きだよ。力があるし強いもんね。こてもつつかたがが一番好きなんだ。



南雲 優ちゃん (4歳)



村山 司くん (6歳)



材料 (4人分)  
・トマト...3ヶ・ピーマン(ししとう、ブロッコリー等でも可)...4ヶ  
・ハム(豚豚、フインダーソーセージ、牛肉等でも可)...300g・ごま...少々  
※かけ汁...だし汁、しょう油、みりん、塩、こしょうを好みで。



南雲 マスさん (中村 53歳) (中 57 6663)

だじょうじょうのあえ物

トマトがとってもまろやかになつたトマトも、味の方は...。そんなトマトが、とってもおいしく大変身! どうぞお試しください。調理時間はたったの五分。忙しい家庭にピッタリのメニューです。

- 〈作り方〉
- ①ピーマンは輪切り、ハムは角切りにする。
  - ②沸騰したお湯の中に①の材料を入れ、すぐに取り出す。(ピーマンは青く、ハムは油抜きをするため)
  - ③トマトは皮をむき、一口大に。
  - ④かけ汁を作り、熱いうちに、トマトとハムを混ぜ合わせ、器に。
  - ⑤④の上にピーマンをのせ、ごまをかける。
  - ⑥温かいうちに食べる。
- 夏は冷やして、冬は温かいまま食べます。トマトがとっても食べやすくなり、青味に季節の野菜を加えれば、色どりもきれいです。野菜嫌いの子供さんや、油っぽいものが苦手のお年寄りのいる家庭のお母さん、試してみてください。

キャンパスだより

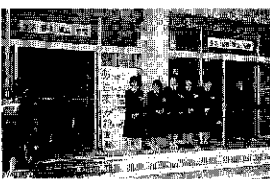
Vol. 20



中条中学校

“高志丘健児のめざすものそれは、自学・鍛練・協働の精神、”

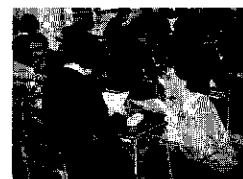
文武両道をめざして  
自ら学ぼうとする朝学習や生徒の自作問題の学習など、軽快な鉛筆の音だけが聞こえる。自分で決めた目標達成に努力する姿である。



礼儀を実践する運動である。「あせまみれ運動」が達成できたとき健全な精神をもった中学生になれると、学生になれると、

十一月級、四百二十三人の生徒は「今を輝け、中条中」を合い言葉に勉学にいそしんでいる。  
「あいさつは真心こめて」「おはよう」「さようなら」。

全校あげて「あせまみれ運動」に取り組んでいる。あいさつ、整理、団結、服装、



毎月一回、クラウディア先生が英語の授業に来校される。若くしかも美人なので、少し恥ずかしい思いがする生徒たちである。

スポーツでも大活躍の年であった。陸上四百で全国大会出場、都市新人野球大会で準優勝などの成績を収めることができた。トレーニング

中条は心身ともに燃えている。



八月には恒例のリーダー研修が行われる。生徒会や学級のリーダーが一堂に会し、リーダーの心構えや親子討論会「係活動」などを学習している。PTA役員も参加し、躍進中条中を日ざして研修している。

郷土愛をめざして

地域の文化を学ぶとともに、苦労されている親の仕事をもつて味合わせた。こんな意図から「地域体験学習」が行われている。生徒は「親は難しい仕事をしているんだなあ」と感嘆の吐息をもらし、先人の功績や両親への尊敬を新たに報告文を綴っていた。

### 「痴呆性老人」上手なお世話講座

痴呆性老人と生活している、看護方法を知りたい、自分で何か役に立てることがないだろうか……。

そんな皆さん、実際にお年寄りと一緒に接しながら一緒に学んでみませんか。下の学習プログラムで行います。

- 対象者 痴呆性老人の看護に関心のある人(30人)
- 参加料 無料(ただし調理実習費として300円が必要です)
- 申し込み 11月24日(木)までに十日町保健所(☎57-2400)へ。

### 社交ダンス講習会

クリスマスパーティーが近づいてきました。そこで社交ダンス講習会を開きます。今年は楽しくダンスをしましょう。そして仲間をふやしましょう。

- とき 11月16・30日、12月7日の各水曜日、午後7時～8時30分
- ところ 青少年ホーム
- 対象 18歳以上30歳未満の男女
- 参加料 500円
- 申し込み 11月15日(木)までに青少年ホーム(☎57-8918)へ。

### 学習プログラム

月 日	内 容
11月30日(木) 午後1時～4時	○ 映画「はける」 ○ 看護のポイント
12月7日(水) 午前10時～午後4時	○ 五日町病院での実習(マイクバス送迎) ○ 痴呆とは何か、治療と予防
12月15日(木) 午後1時～4時	○ 痴呆性老人に関する社会福祉制度 ○ 話し合ひ「私たちが地域で、家庭でできることは何か」
12月22日(木) 午前10時～午後4時	○ 痴呆性老人の食事のお世話(調理実習) ○ 劇劇(痴呆性老人家族会よもぎの会)

2400)へ。

### 青年学級 40周年記念集会

十日町青年学級開設40周年記念集会が開かれます。在籍者名簿を作成し住所のわかる人には案内状をお送りしましたが、まだ届いていない人がいましたらご連絡ください。

- 記念集会は、11月20日(日)正午から公民館でタイル壁画の除幕式、午後1時からクロス10大ホールで式典、祝賀会というプログラムになっています。
- 連絡先 公民館(☎57-5011)へ。

### ボランティア クリスマス交流会

今年もクリスマス交流会を計画しました。みんなで楽しい時間を過ごしてみませんか。

- とき 12月11日(日)午前11時30分
- ところ クロス10
- 会 費 千円(小学生以上)
- 申し込み 11月30日(木)までに社会福祉協議会(社会福祉事務所内☎内線134)へ。

### 年末調整説明会

昭和63年分年末調整説明会を次の日程で開きます。徴収義務者の皆さん、都合のつく会場へお出かけください。

### 説明会場

月 日	時 間	会 場
11月22日(火)	午後2時～	市民会館
11月24日(木)	午前10時～ 午後2時～	津南町役場 中里町総合センター
11月25日(金)	午前10時～ 午後2時～	十日町税務署 川西町商工

■ 問い合わせ 十日町税務署(☎52-3181)へ。

### 総合体育館・市民体育館(夜間)使用(後期11月～64年4月)

日	月						
	日	月	火	水	木	金	土
総合体育館	PM5:30	閉	専	閉	専	専	専
	7:30	館	専	館	専	専	専
市民体育館	PM5:30	閉	専	閉	専	専	専
	7:30	館	専	館	専	専	専

● 専用使用(団体による貸し切りの使用、専用使用料金による使用)の区分です。所定の専用使用申請書により、予約手続きをすませてください。  
※ 専用の予約が入っていない場合には、個人券・年間券の人も使用できます。  
◎ その曜日の種日が練習できます。

日	月						
	日	月	火	水	木	金	土
市民体育館	PM5:30	フ	フ	フ	フ	フ	フ
	7:30	フ	フ	フ	フ	フ	フ

11月の体育施設無料開放日は26日(土)です

11からの開放施設は総合体育館、市民体育館、武道館です。

第22回市民スポーツ大会(結果) 野球チャンピオン大会 第1位 吉沢織物㈱

### 国の進学ローン

高校、大学などに進学するための「国の進学ローン」が10年ぶりに改正され、より利用しやすくなりました。これまでの利用者は68万人、融資額は3千億円にも達しています。

- 融資額 100万円以上
- 利率 年5.7%
- 融資期間 5年以内(毎月元利均等返済、ボーナス時増額返済も可)

### 住宅需要実態調査

県では国の委託を受けて、12月1日に「昭和63年住宅需要実態調査」を行います。この調査は、日ごろ住宅に

- 申し込み 64年4月の進学子定者は64年4月30日(木)までに国民金融公庫長岡支店(☎0258-3643)へ。

ス時増額返済も可) 保証人 1人以上  
ついでどの様に考えているか、住宅の改善についてどんな計画を持っているか、などを伺うものです。全国約9万世帯を対象としていますが、新潟県では約300世帯にお願いすることになっています。

- 問い合わせ 建設課建築住宅係(☎内線26)へ。

■ とき 11月18・19日(金・土) 午前9時～午後4時 ■ ところ 身体障害者福祉センター(塚原町、保健所隣) ■ 展示作品 版画、手芸、書道、編物、焼物、生け花

# 11月 交通安全キャンペーン

## 夕暮れ時、雨天時は要注意を

視界が不十分になります。運転者はくれぐれも安全運転を。

歩行者は運転者からよく見える服装、例えば明るい色の服、反射材をはった服を。黒っぽい服は見えにくいです。

### 10月中の交通事故発生状況( )累計

市 町 村	発生件数	負傷者数	死者数
十日町市	63年 14(106)	16(127)	0(3)
	62年 22(98)	22(115)	0(2)
川西町	63年 8(52)	7(67)	1(3)
	62年 6(43)	6(53)	0(0)
計	63年 22(157)	23(184)	1(6)
	62年 28(141)	28(168)	0(2)



### 前方と後方の安全の不確認

10月31日(月)午後5時30分ごろ、昭和町1地内の市道で、駐車中の乗用車が発進した際、後方から来たバイクと衝突しました。両者の安全不確認が原因です。運転するときは前後、左右の安全をしっかりと確認してください。



## 作業停電

東北電力株式会社 十日町営業所 ☎52-3107

- ◆11月17日(木)午前8時30分～11時30分／伊達2・4の全部、伊達1・3、土市4の各一部 午後0時30分～4時30分／土市1・3の各一部
- ◆11月21日(月)午前9時30分～正午／船坂の全部
- ◆11月24日(木)午前9時30分～正午／稻荷町3本通り・3北の各一部
- ◆11月30日(水)午前9時30分～正午／南雲の全部
- ◆12月2日(金)午前9時～正午／本町6-1の一部

### クマに注意してください

10月下旬、珠川地内でクマの足跡が発見されました。飼料用トウモロコシ畑で若干の被害を受けています。

また、11月5日(土)には土市地内でクマが目撃されています。

冬を前にして出てきたものと思われませんが、くれぐれも注意してください。もし発見したら、すぐに農林課(☎内線334・335)へご連絡ください。

### 霧谷埋立地は「う回路」を

霧谷埋立地の川西町道・田中藤沢線は、災害復旧工事のために11月1日から今年度いっぱい「全面交通止め」となりました。

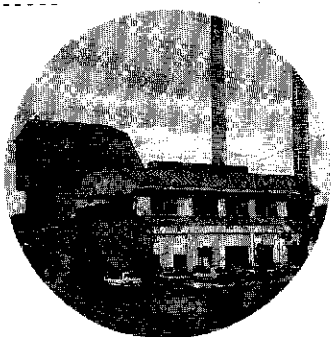
う回路は県道十日町川西線です。なお、4トン以上の大型車は空島・高倉方面からとなりますが、道幅が狭く、待避所も少ないためできるだけ運行はご遠慮ください。

衛生施設組合からお願ひ (☎57-1751・52-3924)

## 11/14～20 第一焼却場を修理

現在、二つの焼却場でゴミ焼却を行っています。老朽化した第一焼却場を修理します。期間は11月14日(月)～20日(日)です。

修理期間中は、家の取り壊しなどによる廃材、タタミ、タンス、机などの大型ゴミは処理ができません。消防署(☎57-1555)の許可を得て自己処分してください。



なお、第二焼却場に持ち込む場合は長さ50cm以下に切ってください。

### くみ取り、お早めに

降雪前は、くみ取りが大変に混み合います。計画収集をしますので早めに申し込んでください。

また、下水道工事等でトイレを改造するときは工事前にくみ取りが必要です。工事日時を決める際は業者にも相談してください。

- (有)するがや清掃社 (☎52-2018)
- 津南清掃社 (☎52-3707)
- 下条清掃社 (☎55-2046)
- 川西クリーン (☎68-428)

## 第4回あじさい公園写真コンテスト (入賞結果)



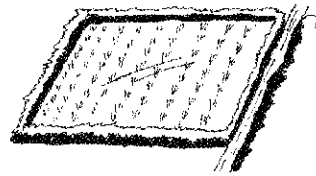
特選の宮沢健二さんの作品

第4回あじさい公園写真コンテストの審査会(応募22点)が10月4日に開かれ、入賞作品が決まりました。(敬称略)

- 特選 「おしんといっしょに」 宮沢健二(小黒沢)
- 佳作 「賑わうあじさい公園」 石川哲司(田川町1)
- 「あじさいとエアロビクス」 田口正樹(川西町)
- 「広がるあじさい公園」 巖木末吉(本町6-2)

# ふるさとの歴史散歩

市史編さん室 ②①



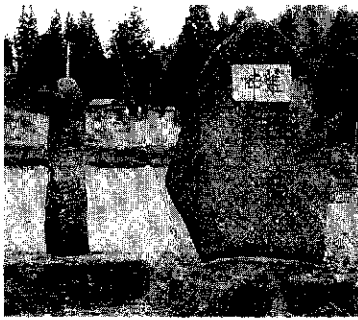
## 三ツ山の開田

写真、二基の碑は三ツ山開田にかかわる石碑である。飛渡川をさかのぼり、市農協新水支所前から右手に折れ、蕨平を過ぎ、段々田圃の坂道を上ると三ツ山の集落へ出る。碑は飛渡第一小学校三ツ山分校前にあり、左手の碑には村人が神とあがめる小田切庄二郎の神霊が深く刻まれている。

明治元年十月、小田切はへき地を開いて永住することを志し、知人の縮布商中条村文吉を頼って中条へ来る。当時、三ツ山は皆畑の村で荒地も少なかった。ここを開拓地と決めた小田切は不足の資金を上組村の甚四郎や文吉に求め、開田に精進した。初め村下濁川か

ら水を引こうとするが既に他村の水源であったことで断念し、遠く枯木又沢を水源にして用水取り入れを始めた。江戸から連れて来た幼児を文吉に預け、ひとり村人を励まして水の取り入れに腐心した。しかし明治三年、志半ばで児を失い、悲嘆し帰京する。そのうえ同年、自らも病を得、十月十五日、再び三ツ山へ帰ることなく没した。

小田切の没後、三ツ山の文八、奥右衛門、清太郎、次郎兵衛等が遺業を継ぐ。取水口から三ツ山余小田切の没後、開田までには幾星霜かを要した。右側の碑文には、『溝渠延長四千四百有余間、高原の地上滾々として清流尽きず』の一文が刻まれている。



田圃わきに建つ2基の碑

# 話題の登場人物

—47—

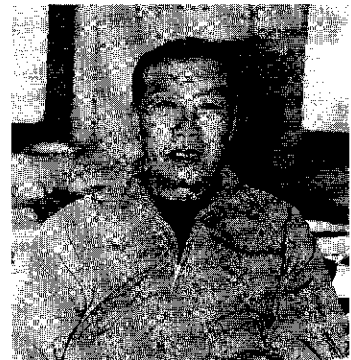
統計調査に三十二年、晴れの藍綬褒章を受ける

## 滝沢文吉さん

(本町一上 66歳)

今月二日発表の秋の褒章で、藍綬褒章に輝きました。長年にわたって公益のために尽くした人に贈られるものです。昭和三十一年の工業統計調査を振り出しに、今年までに九種類の調査に延べ八十数回も携わってきました。

「顔見知りも多く、調査拒否もなく比較的苦勞なくやってこれたことは幸いでしたね」「昭和四十年の国勢調査から記入方法がマークシート方式になったんですが、私ら調査員も市の職員の方皆さんも、とまどったという思い出がありません。



「と三十二年を振り返ります。提出期限がありますが、先方の都合に合わせてはなりません。こまめに足で稼ぐことが大事だと思います」と調査員の心構えを、「市職員の皆さん、調査地区の人たちとも知り合えますし、自分の勉強にもなります」。

「一家内と孫が喜んでくれたんです」と目を細めて話します。暗れの伝達式は今年二十四日に通産省本館で、翌二十五日には皇居で皇太子殿下に接見することになっています。

雪国とおかまち(「十一月発行」と、雪まつり四十周年記念誌「雪花(せつか)の譜」(来年一月発行)です。「雪国とおかまち」は、市報2月10日号で全国の小学四年生が社会科で、十日町市の冬のくらしを学習していると紹介しましたが、これにこたえようと発行します。「雪花の譜」は、四十年の足跡を記録するとともに新しい雪国づくりの布石にしようとして発行します。紙面には市民のエネルギーがいっぱい詰まっています。

内容等は後日の市報でお知らせします。この冬にぜひ読んでいただければと思っております。

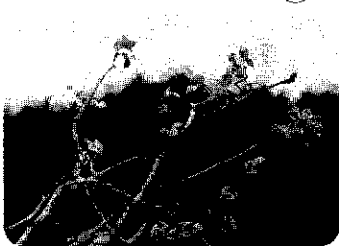


## 編集室から

晴天に恵まれた日曜日の六日、雪囲い、つけ菜洗いと冬支度の光景があちこちで見られました。今冬の子報では大雪とか。さてどうなるでしょう。

# とがまちの自然

## ツルウメモドキ ②①



林の縁や草地など明るい場所に生育する雌雄異株の落葉つる性植物です。

晩秋のころ、実は約8mmくらいまで肥大し、ミカン色に熟して3つに裂け、中から赤い種子が現われます。このミカン色の果皮と赤い仮果皮との色の調和が美しいので生け花などに好んで使われます。種子は野鳥のエサとなり、食べられて広く分布します。葉の落ちつくしたつるに、美しい果実が群がってつくところは妻有の里の雪のたよりを聞くころでもあります。



市の木 きり

市の花 山つつじ